Section 6

データセクション

Section 6
データセクション

76　11年間の財務データ
77　財務ハイライト
78　非財務ハイライト
79　ESGデータサマリー
80　会社概要／株式情報

Introduction

Section 1
当社はどのような現在地にあり、次の成長ステージに向けてどのように企業価値を高めていくのか？

Section 2
利益成長と資本効率向上を両立させるため、どのような資本政策を進めていくのか？

Section 3
強みを持つ事業への集中投資とポートフォリオの進化により、どのように「稼ぐ力」を磨き上げるのか？

Section 4
持続的な成長と企業価値向上に向けて、“K” LINEグループの強みをどのように磨き上げていくのか？

Section 5
コーポレートガバナンス

Section 6
データセクション

11年間の財務データ

川崎汽船株式会社および連結子会社 3月31日に終了した各連結会計年度

中期経営計画の変遷	“K” LINE Vision 100 「共利共生と持続的成長」 Bridge to the Future	Value for our Next Century					2020年度 経営計画	2021年度 経営計画	2022年度 中期経営計画			
		―Action for Future ―		飛躍への再生								
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
												（百万円）
業績（会計年度）	売上高	1,243,932	1,030,191	1,162,025	836,731	735,284	625,486	756,983	942,606	957,939	1,047,944	1,018,364
	営業利益	9,427	△46,037	7,219	△24,736	6,840	△21,286	17,663	78,857	84,154	102,855	84,164
	経常利益	3,338	△52,388	1,962	△48,933	7,407	89,498	657,504	690,839	132,728	308,089	109,100
	親会社株主に帰属する当期純利益	△51,499	△139,478	10,384	△111,188	5,269	108,695	642,424	694,904	101,989	305,384	132,986
財政状態（会計年度末）	総資産	1,115,223	1,045,209	1,036,886	951,261	896,081	974,608	1,574,960	2,052,616	2,109,432	2,210,049	2,343,989
	純資産	379,913	245,482	243,094	181,233	200,234	316,162	984,882	1,546,679	1,624,600	1,677,449	1,841,988
	自己資本	355,375	219,484	217,010	103,576	101,095	218,193	884,634	1,515,399	1,591,925	1,648,434	1,802,703
	有利子負債	525,152	550,512	570,584	550,211	543,451	507,005	423,455	351,692	287,782	344,861	296,049
	設備投資額	116,592	68,048	101,105	97,911	81,148	45,332	43,442	71,827	85,398	133,441	90,670
	減価償却費	48,302	47,421	43,410	40,789	44,253	43,869	42,821	42,396	44,550	49,137	52,379
	営業活動によるキャッシュ・フロー	39,635	△43,919	1,167	△6,808	△21,797	33,397	226,460	456,049	202,449	273,173	264,772
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,569	△24,881	△22,813	△35,493	△20,286	16,987	△5,848	△46,745	△66,332	△126,133	△35,109
	フリー・キャッシュ・フロー	10,066	△68,800	△21,646	△42,301	△42,083	50,384	220,612	409,304	136,117	147,040	229,663
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,835	26,436	22,239	19,290	16,731	△34,845	△116,001	△300,790	△223,182	△211,646	△124,753
1株当たりの情報	当期純利益（EPS）（円）	△61	△165	12	△132	6	129	765	857	141	460	210
	純資産（BPS）（円）	421	260	259	123	120	260	1,054	2,043	2,252	2,610	2,852
	配当金（円）	6	—	—	—	—	—	67	133	83	100	120
	配当性向（%）	—	—	—	—	—	—	8.7	15.6	58.9	21.7	57.0
経営指標	売上高経常利益率（%）	0.3	△5.1	0.2	△5.8	1.0	14.3	86.9	73.3	13.9	29.4	10.7
	売上高当期純利益率（%）	△4.1	△13.5	0.9	△13.3	0.7	17.4	84.9	73.7	10.6	29.1	13.1
	自己資本当期純利益率（ROE）（%）	△12.9	△48.5	4.8	△69.4	5.1	68.1	116.5	57.9	6.6	18.8	7.7
	総資産経常利益率（ROA）（%）	0.3	△4.8	0.2	△4.9	0.8	9.6	51.6	38.1	6.4	14.3	4.8
	負債資本比率（DER）（倍）	1.48	2.51	2.63	5.31	5.38	2.32	0.48	0.23	0.18	0.21	0.16
	自己資本比率（%）	31.9	21.0	20.9	10.9	11.3	22.4	56.2	73.8	75.5	74.6	76.9
	総資産回転率（回）	1.12	0.99	1.12	0.88	0.82	0.64	0.48	0.46	0.45	0.47	0.43
	EBITDA	24,678	△77,180	67,567	△50,293	65,745	167,779	712,219	745,269	185,005	376,449	192,852
	EV／EBITDA（倍）	21.51	△8.70	9.55	△10.40	7.72	3.66	1.30	1.01	7.83	3.78	8.53
	株価収益率（PER）（倍）	—	—	22.44	—	14.37	2.18	1.16	1.18	14.31	4.40	12.54
	株価純資産倍率（PBR）（倍）	0.57	1.26	1.07	1.07	0.75	1.08	0.85	0.49	0.90	0.78	0.93
	株主総利回り（TSR）（%）	—	—	—	—	—	—	340.04	428.99	818.81	854.49	1,115.61
	比較指標：配当込みTOPIX（%）	—	—	—	—	—	—	101.99	107.92	152.53	150.17	202.20
期中平均値	為替（円／US$）	121	109	111	111	109	106	112	135	144	153	150
	燃料油価格（US$／トン）	295	265	349	450	467	363	551	769	620	610	528

＊百万円未満を切り捨てています。
＊2017年10月1日付の株式併合（普通株式10株につき1株の割合）と2022年10月1日付および2024年4月1日付の株式分割（普通株式1株につき3株の割合）を考慮し調整しています。（1円未満四捨五入）
＊「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を2018年度の期首から適用しており、2017年度に係る総資産および総資産経常利益率は当該会計基準等を遡って適用し、算定しています。
＊「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。）等を2021年度の期首から適用しています。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っています。
＊2024年度の期首より、在外子会社等の収益および費用は、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しています。2023年度の関連する主要な経営指標等につきまして、遡及適用後の数値を記載しています。
なお、2022年度以前に係る累積的影響額については、2023年度の期首の純資産額に反映させています。

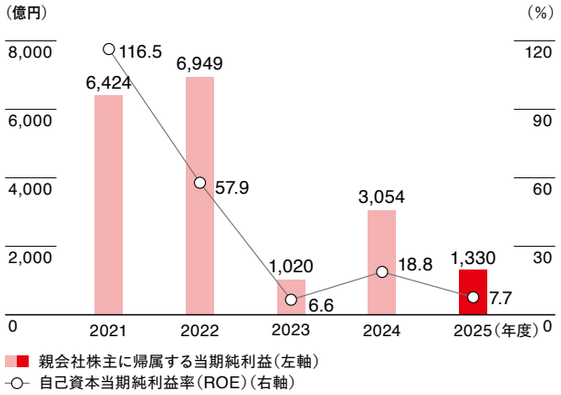
Section 6
データセクション

76 11年間の財務データ
77 財務ハイライト
78 非財務ハイライト
79 ESGデータサマリー
80 会社概要／株式情報

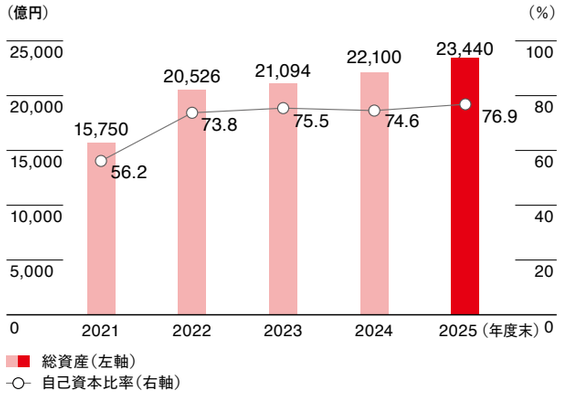
Introduction
Section 1
当社はどのような現在地にあり、次の成長ステージに向けてどのように企業価値を高めていくのか？
Section 2
利益成長と資本効率向上を両立させるため、どのような資本政策を進めていくのか？
Section 3
強みを持つ事業への集中投資とポートフォリオの進化により、どのように「稼ぐ力」を磨き上げるのか？
Section 4
持続的な成長と企業価値向上に向けて、“K” LINEグループの強みをどのように磨き上げていくのか？
Section 5
コーポレートガバナンス
Section 6
データセクション

財務ハイライト

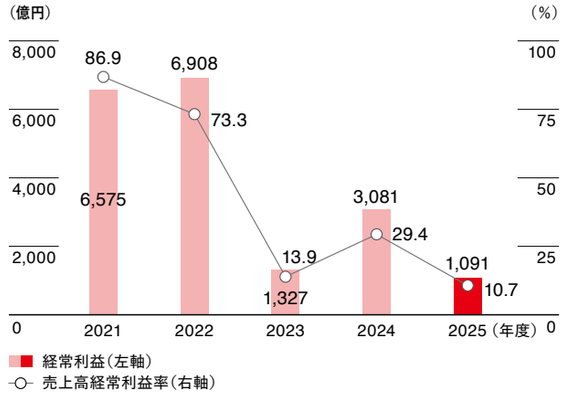
親会社株主に帰属する当期純利益、自己資本当期純利益率（ROE）



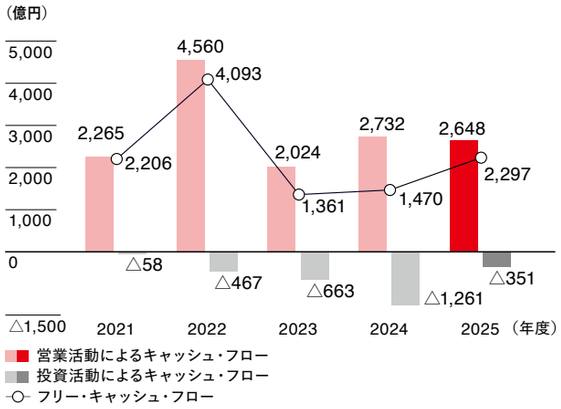
総資産、自己資本比率



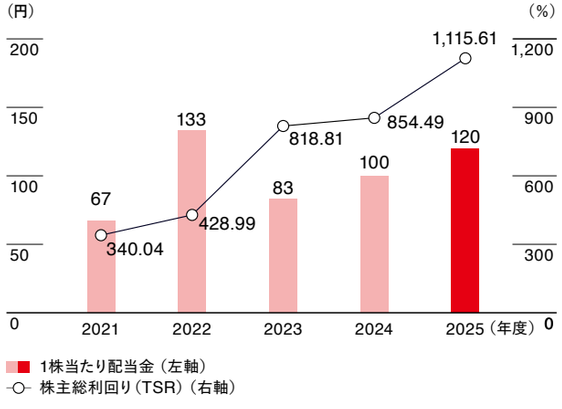
経常利益、売上高経常利益率



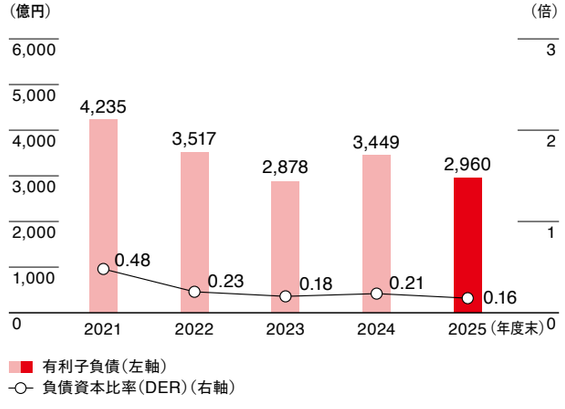
キャッシュ・フロー



1株当たり配当金、株主総利回り（TSR）



有利子負債、負債資本比率（DER）



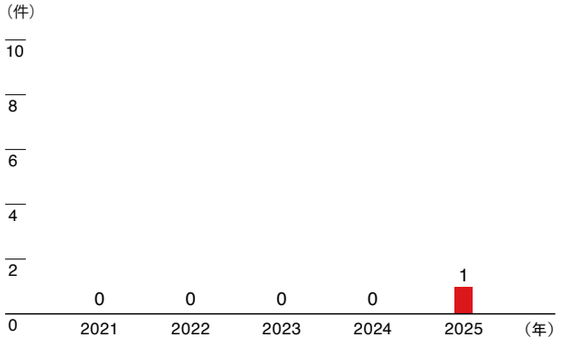
Section 6
データセクション

76　11年間の財務データ
77　財務ハイライト
78　非財務ハイライト
79　ESGデータサマリー
80　会社概要／株式情報

Introduction
Section 1
当社はどのような現在地にあり、次の成長ステージに向けてどのように企業価値を高めていくのか？
Section 2
利益成長と資本効率向上を両立させるため、どのような資本政策を進めていくのか？
Section 3
強みを持つ事業への集中投資とポートフォリオの進化により、どのように「稼ぐ力」を磨き上げるのか？
Section 4
持続的な成長と企業価値向上に向けて、“K” LINEグループの強みをどのように磨き上げていくのか？
Section 5
コーポレートガバナンス
Section 6
データセクション

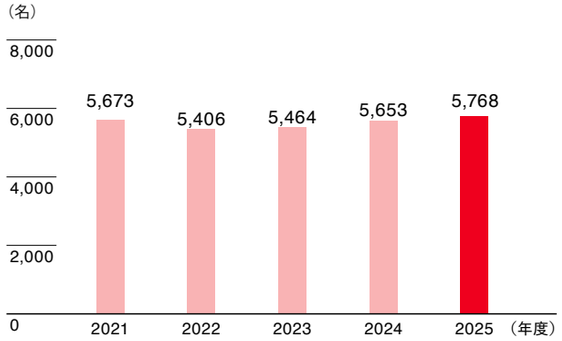
非財務ハイライト

重大事故発生件数*

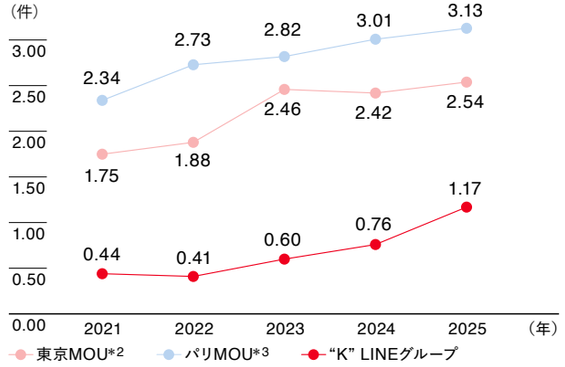


*対象範囲は当社および連結範囲が売上高の100%連結子会社です。

従業員数（連結）



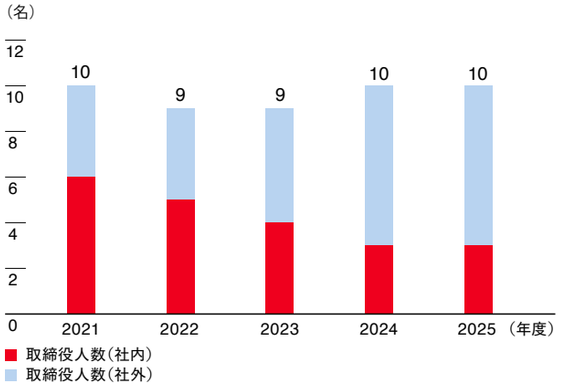
PSC検査を受けた船舶の平均指摘数*1



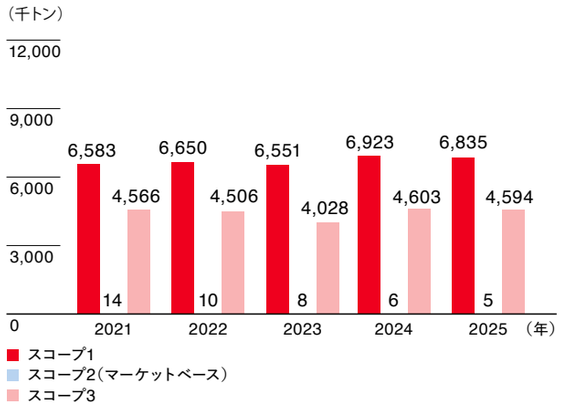
ポートステートコントロール（PSC）とは、外国籍船舶の入港を許可する寄港国が、その船舶が入港した際に行う安全検査のことです。さまざまな国際基準を遵守しているか本船に立ち入り検査を行います。“K” LINEグループ船がPSCにおいて受けた指摘件数は、主な地域でPSCを受けた船舶の平均指摘件数を大きく下回っています。

*1 対象は当社および連結範囲が売上高の100%の連結子会社です。　*2 東京MOU：アジア・太平洋地域PSC協力組織　*3 パリMOU：欧州・北大西洋地域PSC協力組織

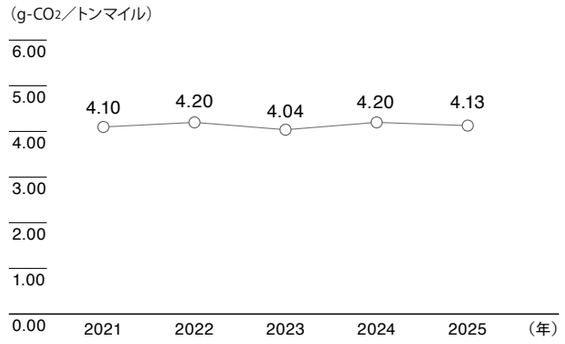
取締役会



CO_2排出量



輸送トンマイル当たりのCO_2排出量



76　11年間の財務データ
77　財務ハイライト
78　非財務ハイライト
79　ESGデータサマリー
80　会社概要／株式情報

Introduction
Section 1
当社はどのような現在地にあり、次の成長ステージに向けてどのように企業価値を高めていくのか？
Section 2
利益成長と資本効率向上を両立させるため、どのような資本政策を進めていくのか？
Section 3
強みを持つ事業への集中投資とポートフォリオの進化により、どのように「稼ぐ力」を磨き上げるのか？
Section 4
持続的な成長と企業価値向上に向けて、“K” LINEグループの強みをどのように磨き上げていくのか？
Section 5
コーポレートガバナンス
Section 6
データセクション

ESGデータサマリー

			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人事データ	連結従業員(名)		5,673	5,406	5,464	5,653	5,768
	単体従業員(名)		794	804	847	900	962
	陸上(名)		585	597	635	690	743
	海上(名)		209	207	212	210	219
	女性比率(%)		27.5	29.1	29.0	30.7	31.7
	障がい者雇用率(%)*1		2.09	1.71	2.11	2.65	1.77
	労働災害発生件数(件)*2		0	1	1	1	1
	平均勤続年数(年)*3	男性	15.21	14.92	14.58	14.23	13.64
		女性	14.17	13.77	13.52	13.18	12.29
	全体の離職率(%)*4		4.45	3.99	3.31	2.94	3.42
経営体制*5	取締役(名)		10	9	9	10	10
	社外取締役(名)		4	4	4	7	7
	監査役(名)*6		4	4	4	—	—
	社外監査役(名)*6		2	2	2	—	—
川崎汽船グループ全体のCO_2排出量*7	スコープ1(千トン)		6,583	6,650	6,551	6,923	6,835
	スコープ2(千トン)	ロケーションベース	14	12	10	10	10
		マーケットベース	14	10	8	6	5
	スコープ3(千トン)		4,566	4,506	4,028	4,603	4,594
当社運航船*8の環境負荷データ	燃料油(千トン)		1,981	1,924	1,898	1,957	1,936
	CO_2排出量(千トン)		6,175	5,997	5,914	6,062	5,981
	SOx排出量(千トン)		30	29	30	28	28
	NOx排出量(千トン)		118	118	117	122	118
当社運航船の輸送トンマイル*9 当たりの環境負荷データ	エネルギー投入量	燃料油(g/トンマイル)	1.31	1.34	1.29	1.34	1.33
		潤滑油(mL/トンマイル)	0.012	0.012	0.012	0.012	0.013
	CO_2排出量(g-CO_2/トンマイル)	全船種	4.10	4.20	4.04	4.20	4.13
	SOx排出量(g-SOx/トンマイル)	全船種	0.020	0.020	0.020	0.020	0.021
	NOx排出量(g-NOx/トンマイル)	全船種	0.078	0.082	0.080	0.083	0.081
研修	一人当たりの研修費(円)	陸上	107,000	97,092	171,454	208,861	265,026
		海上	154,664	263,880	393,407	410,222	360,448
	年間教育・研修平均日数(日)	陸上	1	3	3	3	4.5
		海上	8	12	20	18	21
	年間教育・研修平均時間(時間)	陸上	13	24	21	21	32
		海上	64	96	160	144	168

*1 障がい者雇用率は、雇用促進法の定めに従っています。その規定により、海上従業員(陸上勤務中の者を除く)については除外率90%を適用して算出しています。
*2 通勤災害を除く。
*3 対象範囲は、期間を定めない川崎汽船株式会社従業員。
*4 算定方法:各年度の退職者数÷正社員数。
*5 川崎汽船株式会社を対象としています。
*6 2025年3月28日開催の臨時株主総会の承認を経て監査役会設置会社から指名委員会等設置会社へ移行しています。2025年3月末現在のデータを記載しています。
*7 2021年より集計対象範囲を変更し、当社非運航船についてはスコープ1の集計対象外としました。コンテナ船についてはスコープ3に計上しています。
2025年にはスコープ外排出量としてバイオ燃料使用に伴うCO_2排出量が46,808トンあります。2025年には9.8トンのカーボンオフセットを行いました。暦年単位で集計しています。
*8 2021年より集計範囲を変更し、当社非運航船を集計対象外としました。暦年単位で集計しています。
*9 1トンの貨物を1マイル(1,852m)輸送すること。船舶のDWT(載貨重量トン数)ベース。

76 11年間の財務データ
77 財務ハイライト
78 非財務ハイライト
79 ESGデータサマリー
80 会社概要／株式情報

Introduction
Section 1
当社はどのような現在地にあり、次の成長ステージに向けてどのように企業価値を高めていくのか?
Section 2
利益成長と資本効率向上を両立させるため、どのような資本政策を進めていくのか?
Section 3
強みを持つ事業への集中投資とポートフォリオの進化により、どのように「稼ぐ力」を磨き上げるのか?
Section 4
持続的な成長と企業価値向上に向けて、"K" LINEグループの強みをどのように磨き上げていくのか?
Section 5
コーポレートガバナンス
Section 6
データセクション

会社概要／株式情報

会社概要（2026年6月30日現在）

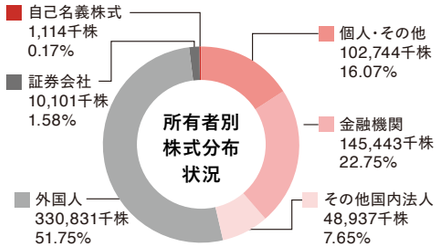
社名		川崎汽船株式会社
設立		1919年（大正8年）4月5日
資本金		754億5,764万円
社長		五十嵐 武宣（2025年3月28日就任）
従業員数		単体：1,036名（陸員808名、海員228名） 連結：5,907名
事業内容		海上運送業、陸上運送業、航空運送業、海陸空通し運送業、港湾運送業等
事業所	本社	〒100-8540 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号（飯野ビルディング） 電話（03）3595-5000／FAX（03）3595-5001
	本店	〒650-0024 神戸市中央区海岸通8番（神港ビルヂング） 電話（078）332-8020／FAX（078）393-2676
	支店	名古屋 〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号（名古屋国際センタービル） 電話（052）589-4510／FAX（052）589-4585 関西 〒650-0024 神戸市中央区海岸通8番（神港ビルヂング） 電話（078）332-8020／FAX（078）393-2676
海外駐在員事務所		台北、マニラ、デュバイ、ドーハ
海外法人		韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、豪州、英国、ドイツ、ベルギー、フランス、米国、メキシコ、ペルー、チリ、ブラジル、南アフリカ
関係会社（連結対象）		国内29社 海外257社

当社格付（2026年3月6日現在）

	種類	対象	格付（見通し等）	変更日
日本格付研究所（JCR）	長期発行体格付		A（安定的）	2026.03.06
	国内CP格	コマーシャルペーパー	J-1	2023.02.22

株式情報（2026年3月31日現在）

発行可能株式総数	1,800,000,000株
発行済株式総数	639,172,067株
株主数	191,201名
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
上場証券取引所	東京（プライム市場）
証券コード	9107

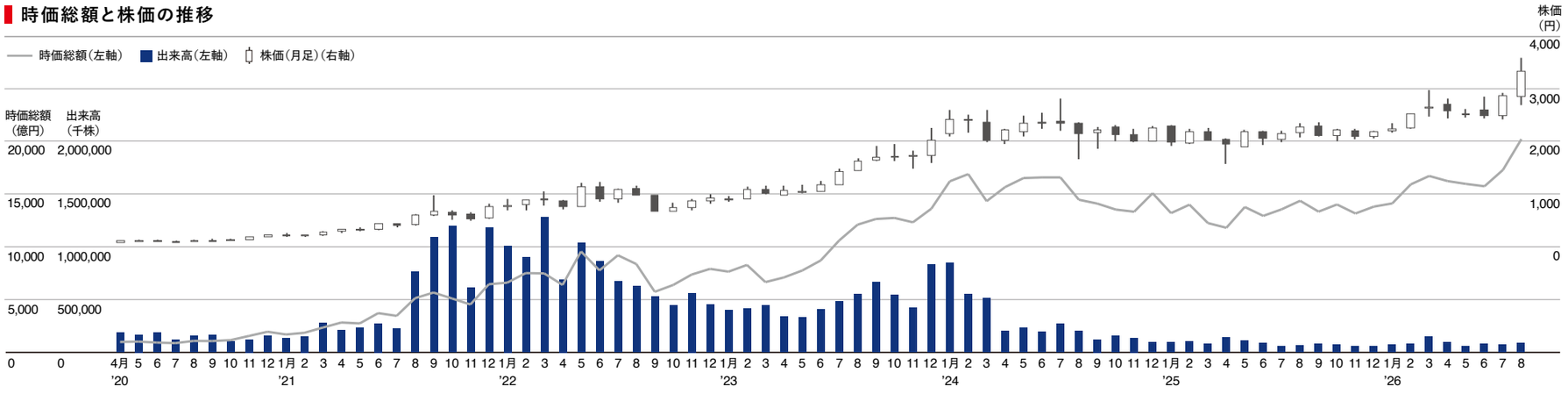


大株主（2026年3月31日現在）

株主名	所有株式数（千株）	持株比率（%）
イーシーエム エムエフ	80,947	12.68
エムエルアイ フオー セグリゲーテイツド ピーピー クライアント	62,862	9.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	54,593	8.55
JPMSPLC CLIENT ASSETS SK JPY	31,796	4.98
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	27,375	4.29
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	24,437	3.83
サンテラ（ケイマン）リミテッド アズ トラスティ オブ イーシーエム マスターファンド	19,716	3.09
今治造船株式会社	16,956	2.65
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	13,777	2.15
株式会社みずほ銀行	12,694	1.98

＊所有株式割合は自己株式（1,114,301株）を控除して計算しています。

時価総額と株価の推移



Section 6
データセクション

76 11年間の財務データ
77 財務ハイライト
78 非財務ハイライト
79 ESGデータサマリー
80 会社概要／株式情報

Introduction
Section 1
当社はどのような現在地にあり、次の成長ステージに向けてどのように企業価値を高めていくのか？
Section 2
利益成長と資本効率向上を両立させるため、どのような資本政策を進めていくのか？
Section 3
強みを持つ事業への集中投資とポートフォリオの進化により、どのように「稼ぐ力」を磨き上げるのか？
Section 4
持続的な成長と企業価値向上に向けて、"K" LINEグループの強みをどのように磨き上げていくのか？
Section 5
コーポレートガバナンス
Section 6
データセクション

川崎汽船株式会社

〒100-8540
東京都千代田区内幸町二丁目1番1号（飯野ビルディング）

TEL：03-3595-5000（代表）
URL：https://www.kline.co.jp

UD FONT
ユニバーサルデザイン（UD）の
考えに基づいた見やすい文字
を採用しています。